

みんなで
取り組もう!!

イノシシ対策マニュアル



猪出没注意

平成30年4月
生駒市



① イノシシってどういう動物？

✓ 臆病で注意深く・学習能力が高い

本来イノシシは昼行性です。しかし人を怖がって夜に活発に行動しています。そのため、昼間でも人があまりこない場所ではイノシシが目撃されることもあります。イノシシは警戒心が強く臆病なので、身をひそめる場所を確保しながら通りなれたけもの道を移動します。

また、イノシシは記憶力がよく、高い学習能力を持ちます。そのため、農地に光や音・臭いがするもので対策をしても、最初は嫌がりますが、それによって怖いことがなければ、すぐに慣れて安全な場所だと認識してしまいます。

✓ 跳躍力は1m以上・鼻が敏感である

ジャンプ力が高く、助走なしで垂直に1m以上の高さを跳び越えるだけでなく、20cmの隙間をくぐりぬけることができます。

鼻が敏感で、周りの臭いなどを探る際に役立つだけでなく、地面を掘ったり、押し上げる力も強いです。

✓ 雑食性で、稲やタケノコやミミズなどなんでも食べる

ミミズなどを食べるために、土を掘り返したあとは、耕運機が入ったあとのようになってしまいます。春先はタケノコ被害、秋は稲やさつまいもなどの農作物被害が多くあります。

✓ 1回に4～5頭出産する

交尾期は年に1回で12～2月頃、出産期は4～6月頃、平均4～5頭を産みます。春に出産した子どもが捕獲されたり、死亡したりした場合は、秋にも出産を行う場合があります。



②イノシシ被害の現状について

イノシシ被害は、本市において十数年前から主に中から南地区で出てきており、近年は北地区でも見られるようになってきました。近頃では、人に慣れてきたのか、明るい時にも街中で見られるようになってきました。

田んぼを荒らされたり、さつまいもやタケノコを掘り起こすなどの農作物被害や土手の掘り起こしによる土手崩壊などの被害が出ています。

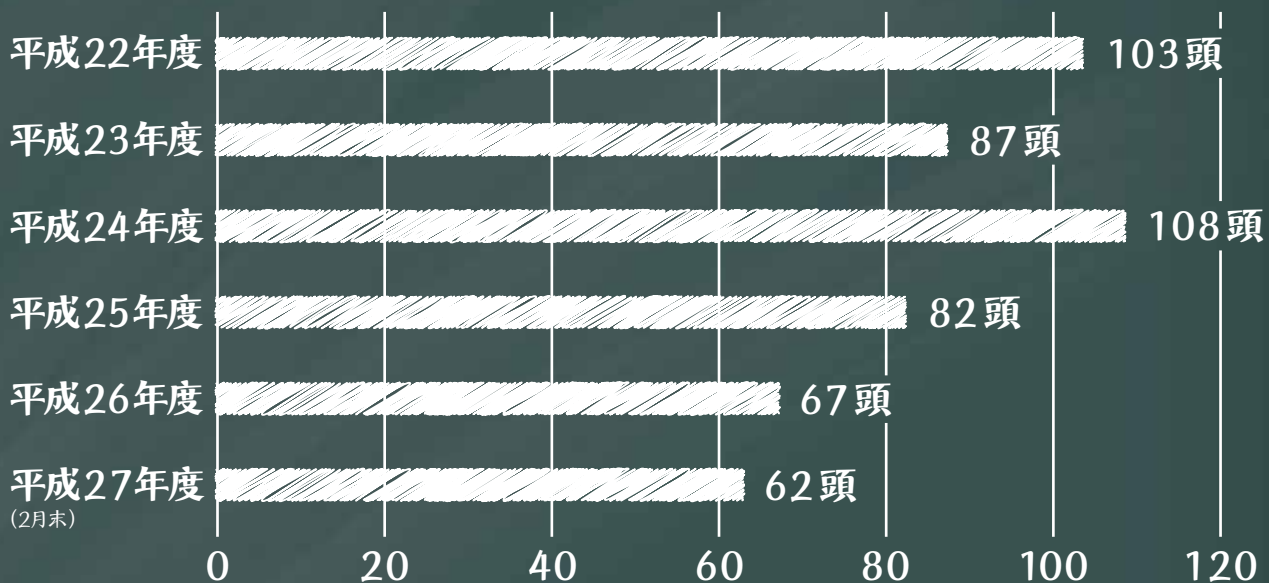
また、体のダニを取るために稲の中でのたうち回ることがあります。一度イノシシに入られた田んぼでとれた稲は、臭くて食べるができないとも言われています。

野生動物は法律により保護されていますが、本市では農作物被害を防止するため、猟友会に依頼し、わなによる捕獲をしています。ただ捕獲をしても繁殖力が強いいため、対策が追いついていないことが現状です。



掘り起こし被害

イノシシ捕獲頭数



③ イノシシ対策について

イノシシは野生動物であり、本来、山にいるものであり、自然豊かな生駒として、イノシシと住み分けをして、共生していくことが大切ではないでしょうか。そのための被害にあわない対策を紹介します。

Q.1 イノシシを見かけた時は・・・

A.1 ゆっくりと後退し、静かにその場を去る!!

イノシシは基本的には臆病な動物であるため、こちらから何かしない限り襲ってくるということはありません。街中へ下りてきたイノシシも自然と山へ帰っていくため、見かけた際は刺激を与えず、興奮させないようにすることが大切です。逃げるために、急に走り出すなどしてイノシシを興奮させないようにしてください。また、後ろを向くと襲われる恐れもあるため、背中を見せず目を合わせないようにして静かに逃げてください。子どものイノシシを見かけても、そばに親がいる可能性が高いので近づかないでください。

親子連れの場合や出産時期の場合、気が荒れていたり、警戒心が高くなっているため、興奮しているイノシシに出会った際は、イノシシの通り道を塞がないように注意する必要があります。

暗い時に出歩く際は、音（鞆に鈴をつける）や光（懐中電灯など）であらかじめイノシシに人間の存在を知らせる工夫をし、突発的な事故を防ぐようにしましょう。



Q.2 イノシシ被害を防ぐには・・・

A.2-1 餌付けをしない!!

故意の餌付けだけでなく、知らないうちに行っている無意識の餌付けについて再度点検する必要があります。イノシシを呼び寄せない環境作りをする必要があります。

子どものイノシシは可愛いかもしれませんが、餌は絶対に与えないでください。人間を恐れなくなったイノシシは、大きくなってから人家周辺に出没するようになります。

野菜クズや生ごみを農地に捨てたり、未収穫の野菜や果樹が放置されているとイノシシの絶好の餌場となってしまいます。ペットなどに与えた餌が正しく管理されているか、屋外での餌やりには注意を払ってください。また、ごみは収集日の朝に指定された場所に出し、ごみ散乱防止対策を行うなどごみ出しのマナーを守りましょう。



A.2-2 隠れ場所をなくす!!

イノシシは草が生い茂ったところや、やぶを隠れ場所とします。耕作されず荒らされている農地や里山などはイノシシの絶好の隠れ場所となるため、草刈りなど維持管理を行って適正に管理してください。イノシシは隠れ場所を確保しながら、行動をするため、見通しをよくし、近づきにくい環境を作りましょう。

A.2-3 侵入を防止する!!

農地や家の敷地内などの被害を防止するために、防除柵を設置してください。農作物被害を防止する柵の設置については、市の補助金制度を活用し、自己防衛を図ってください。また、田畑を餌場であると認識させないために、農作物の生育期や収穫期だけではなく年中柵を設置することが効果的です。



侵入防止対策について

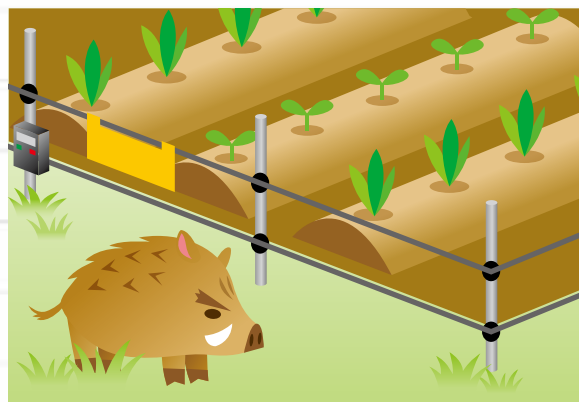


トタン柵

視覚を遮断する効果に優れています。隙間を作らないように設置してください。高さを1.2 m程度まで上げて、跳び越えられないようにしてください。

ワイヤーメッシュ柵

視覚を遮断する効果はあまりありませんが、強度に優れています。上部30cmの部分を外側に20度に折り曲げると、跳び込み防止効果があります。



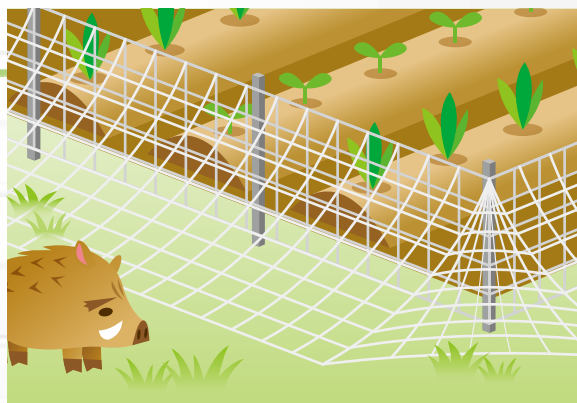
電気柵

侵入防止効果が高いです。背中などの毛皮部分は感電せず、鼻先がよく通電します。周囲の草刈りや通電の確認など、継続した管理を行い、電線の切断や漏電など定期的な維持管理をする必要があります。必ず危険表示を行い、人の感電などがないように設置してください。

※電気柵は、人に対する危険防止のために、電気事業法によって設置方法が定められています。

ネット柵

ネット柵を斜めにたらすと、踏切位置が遠くなり、跳び越えを防止することができます。



④ 生駒市の補助金等の制度について

○防除柵設置にかかる費用の半額補助金

農地を守るためには、捕獲するだけでは追いつきません。防除柵を設置して、イノシシに入られないようにすることが大切であるため、柵設置費用に対する半額補助金制度を設けています。

●トタンなどの防除柵……………補助金額上限4万円

●電気柵……………補助金額上限6万円

※市内に農地を持つ農業者等が補助金の対象となります。

※上限単価が異なるため、トタンなどの柵と電気柵あわせての申請はできません。

※1年度につき、申請は1回となるため、年度内で数回に分けて防除柵設置を検討している場合は、まとめて申請してください。

※補助対象費用は年度内に購入し、年度内に設置された防除柵の資材購入費用です。人件費や、送料などは含みません。

※ワイヤーメッシュ柵からたらずネット柵など付加については補助対象外です。

※補助対象となる防除柵は、5年以上の耐久性があるものとなります。

○狩猟免許取得にかかる費用の半額補助金

猟友会の方はほぼボランティアで活動してくださっています。また高齢化で、狩猟免許保持者が減っていくことが懸念されます。自分の農地を自分で守るために狩猟免許を取得しようと思っても取得にはお金がかかります。初回免許取得にかかる費用の半額補助金制度を設けています。比較的、わなの免許は取得しやすくなっています。

※狩猟免許取得の目的が趣味であるものは対象となりません。有害鳥獣捕獲を目的とした取得が対象となります。

※狩猟免許取得にかかる補助金対象費用とは、狩猟免許受験料、講習料金、初回登録料です。

○捕獲檻購入にかかる費用の半額補助金

狩猟免許取得後、捕獲檻を設置して有害鳥獣捕獲をする方に、檻の購入費用に対する半額補助金制度を設けています。イノシシの捕獲檻を設置するには、狩猟免許が必要です。また、狩猟期間以外にイノシシを捕獲するには有害鳥獣捕獲許可が必要となります。有害鳥獣捕獲許可は、免許取得後5年間は、自己所有の農地又は山林のみが対象となります。

●捕獲檻……………補助金額上限5万円

○地元施行材料支給

所有者が高齢のためなどで、耕作されず荒れておりイノシシの隠れ家となっている農地に対策をとることができない場合に、農家区で話し合って隠れ家となることを防止するために使用するトタン・ワイヤーメッシュ柵・杭などの材料を支給します。

…………… 問い合わせ先 ……………

生駒市役所 地域活力創生部 農林課

〒630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号

TEL: 0743-74-1111 FAX: 0743-74-9100

